

メルボルン大学 人文学部一開発学修士課程 (Master of Development Studies)

メルボルン大学の開発学では、発展途上の社会で生じる経済的、環境的、そして社会的な変化を探求します。本課程は、哲学/人類学/社会調査学部(School of Philosophy, Anthropology and Social inquiry)が実施する、異分野が融合したプログラムです。人類学、地理学、環境学、ジェンダー学、哲学、政治学、先住民族学、公共政策、社会学、社会理論、健康学、法律学、経済学などの関連分野の科目が含まれています。学生は、広範囲の学習から、そして地域ごとに焦点を当てたカリキュラムを通して、社会の変化、そして社会と環境の相互作用を学びます。

学生は、この課程を通して、NGO 団体、政府機関、そして世界銀行やアジア開発銀行などの多国間組織のために研究やコンサルタント業を行う、開発分野における第一線の学者や専門家と接することができます。昨今のアジア太平洋地域における研究では、アフガニスタン、カンボジア、中国、フィジー、インドネシア、ラオス、マレーシア、パキスタン、パプアニューギニア、フィリピン、サモア、スリランカ、台湾、タイ、東ティモール、バヌアツ、ベトナムにおける、様々な開発や環境変化を取り上げています。

本学の開発学修士課程には、世界中から学生が集まります。彼らの多くは中間キャリアの開発学専門家です。卒業生は、オーストラリアの国内外の学界、国際支援組織、NGO 団体や民間コンサルタント企業で活躍しています。

本課程は、所有している資格や職歴に基づき、1年間または2年間のフルタイムプログラムで履修可能です。開発、環境、ジェンダー学、都会化や医療政策の分野で働く学士取得者に、職業資格のための専門トレーニングを行います。コースでは、職業的、学問的にバランスのとれた独特なトレーニングを実施しています。プロジェクト・マネージメントやデザイン、そしてプロジェクト評価を主とする分野だけでなく、社会影響調査(SIA)や環境影響調査(EIA)、といった、開発分野での仕事に不可欠なスキルのための科目を提供しています。また、学生は、大学内で講義されている、議論を中心の科目を幅広く選択することができます。選択科目は以下のようなものがあります。

- ・ 国際インターンシップ
- ・ 遺産と文化環境
- ・ 東南アジアにおける人権
- ・ ジェンダー論、国際化と発展
- ・ 統治と国際機関
- ・ 医療政策とその管理
- ・ 環境政策
- ・ 農業政策と国際貿易
- ・ 持続可能な開発のためのエネルギー
- ・ 開発技術論—事例研究
- ・ 国際児童保健
- ・ 発展途上国における障害
- ・ 文化、健康と病気
- ・ 世界環境と持続可能性
- ・ 土地・生物資源のコミュニティマネージメント

開発分野における国際インターンシップでは、その分野での実務経験が習得できます。学生は、オーストラリア、または海外でインターンシップをすることができます。本課程の多くの学生は、このインターンシップの機会を使って、実務経験を積み、大学の授業で学んだことを文脈化します。インターンシップ先は、中国、東ティモール、フィジー、インド、日本、マレーシア、メキシコ、ネパール、サモア、タイやベトナムで、組織・団体では、ユネスコ協会、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)、ユニセフ協会 (UNICEF)、オックスファム、オーストラリア開発庁 (AusAID)、アロラ基金、オーストラリア赤十字社、国際連合のプロジェクトサービス機関、ベトナム・ファウナ・アンド・フローラ・インターナショナル、WWF、アムネスティ・インターナショナル、タイ外務省、UN Techno Para チリ、そしてオーストラリア・ボランティア・アブロードなどです。本課程の学生は、熱心かつ革新的で、卒業生同士の強いネットワークを構築しています。また、本課程でも、毎年、キャリア・フェアやその他様々な活動、イベントを開催しており、学生の個人的・職業的スキル、そしてネットワークを構築するスキルを高めています。

入学時期は、年に2回です：2月 (Semester1) と7月 (Semester2) です。

また、修士、PhD (博士号) レベルの研究プログラムもあります。

本プログラムのさらに詳しい情報については、下記サイトを参照下さい。

<http://www.social-environmental.unimelb.edu.au/development/>

<http://www.social-environmental.unimelb.edu.au/development/dspost.html>